

がいろめ倶楽部たより

第24号



6年目にむけて

六古窯が文化遺産に登録された、という。瀬戸市もそうであるが、他の産地でも、これを機会に町興しを目論み、さまざまなイベントが計画されることであろう。今から20年以上前、「六古窯サミット」と呼ばれる陶産地の連携を図るイベントが開催された。この頃から陶磁器産業が衰退し始めたため、ライバル同士が智恵を出し合って、世間のやきものに対する関心を広げようと企画されたものである。備前や信楽などの、産業規模の小さい産地は、かなり積極的に取り組んでいたが、瀬戸や常滑などは、やや距離を置いていたように思えた。今も継続されているということであるが、あまり知られていないのではなかろうか。その後、瀬戸・美濃・常滑・四日市(万古)の四産地のコラボレーションで、新たな製品の開発や広報を行う取り組みがなされた。しかし、あまり成功したとは思われない。文化遺産に登録されたとして、一体何ほどのことがあるというのか。

やきもの文化と芸術振興協会は、こうした陶磁器産業あるいはやきもの文化の衰退期にあって、何をめざすべきであろうか、と大上段に振りかぶっても仕方がないことであるが、お茶、お花、和食等、日本の伝統を支えたやきもの文化が、過去の遺物になってしまうのも、寂しい限りではある。当協会も六年目を迎え、新しい世代への継承を考えていく時期ではなかろうか。

理事長 浅田 員由

◎「定時総会」結果の報告

5月12日(土)に定時総会を愛知県陶磁美術館展示解説室にて開催しました。

出席者117名(内委任状85名)にて、上田陶磁美術館館長にご挨拶を頂いた後、議案審議が行われ以下の通り、可決されました。

第1号議案：平成29年度事業報告 可決

第2号議案：平成29年度会計及び監査報告 可決

第3号議案：役員選出 可決

その他：平成30年度事業計画、運営会議について、簡単な説明をいたしました。

総会終了後に、理事の林氏が山村御流の生け花については話をされ、同じく理事で樹木医の尾関氏が花が持つ誘因装置について、楽しく易しく解説されました。例年のように、会員お手製の桜湯の提供もありました。



◆「NPO 会員による第5回陶芸作品展」総会と同時開催されました。

会員による陶芸作品展が今年も開催されました。出品者10名による23点の作品は、例年にもまして、個性あふれ、皆さんの技量の上達ぶりを拝見できました。恒例の一人2点の投票でお気に入り作品に人気投票。1位は小島久雄様の大皿、2位は樋田万里様の人形、3位は小坂京子様練り込み皿・鉢Ⅱとなりました。

◎2018年度 これからの行事、講演会のご案内

◆やきもの大学 前期講座

当 NPO 法人の主たる活動の一つ「やきもの大学」は、6月からの前期講座と9月からの後期講座があります。一つのテーマに沿って、2-3回の座学の講座を行い、各地から先生をお呼びします。講座終了後には、勉強したやきものの地へ研修旅行を行います。(今年度は後期のみ)

前期講座のテーマは「ふたたび 京のやきもの」 「ふたたび」という意味は、3年前にも京焼を取り上げたからですが、今回は仁清、乾山に焦点を当てた講座になると思います。

6月3日(日) 午後1時30分～3時 仁清一色絵陶器の完成

7月1日(日) 同上 乾山と古清水—江戸時代中期までの京焼
愛知県陶磁美術館 地下講堂 にて

講師： 大手前大学教授 岡 佳子氏

この分野のご研究第一人者の岡佳子先生に2回連続講座をお願いしています。
会員の方は参加費は無料、一般の方は今年度は500円でお聞きいただけます。

後期は「六古窯」をとりあげます。

◆「浅田先生を囲むやきもの談義」 毎月第2木曜日午前10時より12時

次回は6月14日(木) 午前10時から 陶磁美術館 展示説明室

今年度も引き続き、毎月第2木曜日に浅田員由理事長を囲む「やきもの談義」が行われます。会員でなくても、どなたでも参加頂けます。このチラシをどこかで見られた方も、気軽にのぞきに来てください。愛知県陶磁資料館(今の陶磁美術館)の元学芸部長をされていた浅田先生のお話は、やきものにとどまらず、文化・歴史、国際関係に及びますが、気楽に楽しくお聞きいただけます。あれ?と思うことはどんどん!ご質問頂けます。参加費は無料です。

毎月20人程度のご参加をいただいています。

先月4月12日(木)は、「磁器の展開 伊万里」を主題に、猿投窯の灰釉陶器から伊万里、柿右衛門、鍋島へと展開されるその経緯を、また、日展、伝統工芸展、無形文化財(人間国宝)の時代変化に伴う制度の変化などを解説。また、六古窯が話題となっていますが、瀬戸は他地区と違って、突出しており、六古窯の出典根拠などにも触れられました。

今月の5月10日(木)には、「縄文土器」をテーマに新年度のやきもの談議が始まりました。遺跡・出土品から当時の生活状況がどのように変化していったか、縄文カレンダーから推測し、土器の形状や地域毎の特徴、材料・成型の技法についても話されました。次回は6月14日(木) お楽しみに!



発行元 : 「NPO 法人 やきもの文化と芸術振興協会」事務局
住 所 : 〒489-0875 瀬戸市緑町2-43
お問い合わせ電話番号: 090-5850-6969 (谷)
メール : yakimono.bunka@gmail.com
ホームページ: <http://yakimonobunka.jimdo.com/>
郵便振替口座: 記号番号 00890-9-152071
加入者名 トク) やきもの文化と芸術振興協会